

大阪府景気観測調査結果

平成24年7～9月期

《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。 <http://www.pref.osaka.lg.jp/aid/sangyou/keikikansoku.html> 》

商工労働部（大阪産業経済リサーチセンター）では、府内企業を対象として四半期毎に、大阪市と協力して景気観測調査を実施しております。平成24年7～9月期の調査結果の概要は次のとおりです。

なお、大阪市景気観測調査結果については、大阪市経済局のウェブサイト

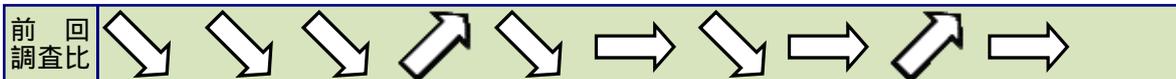
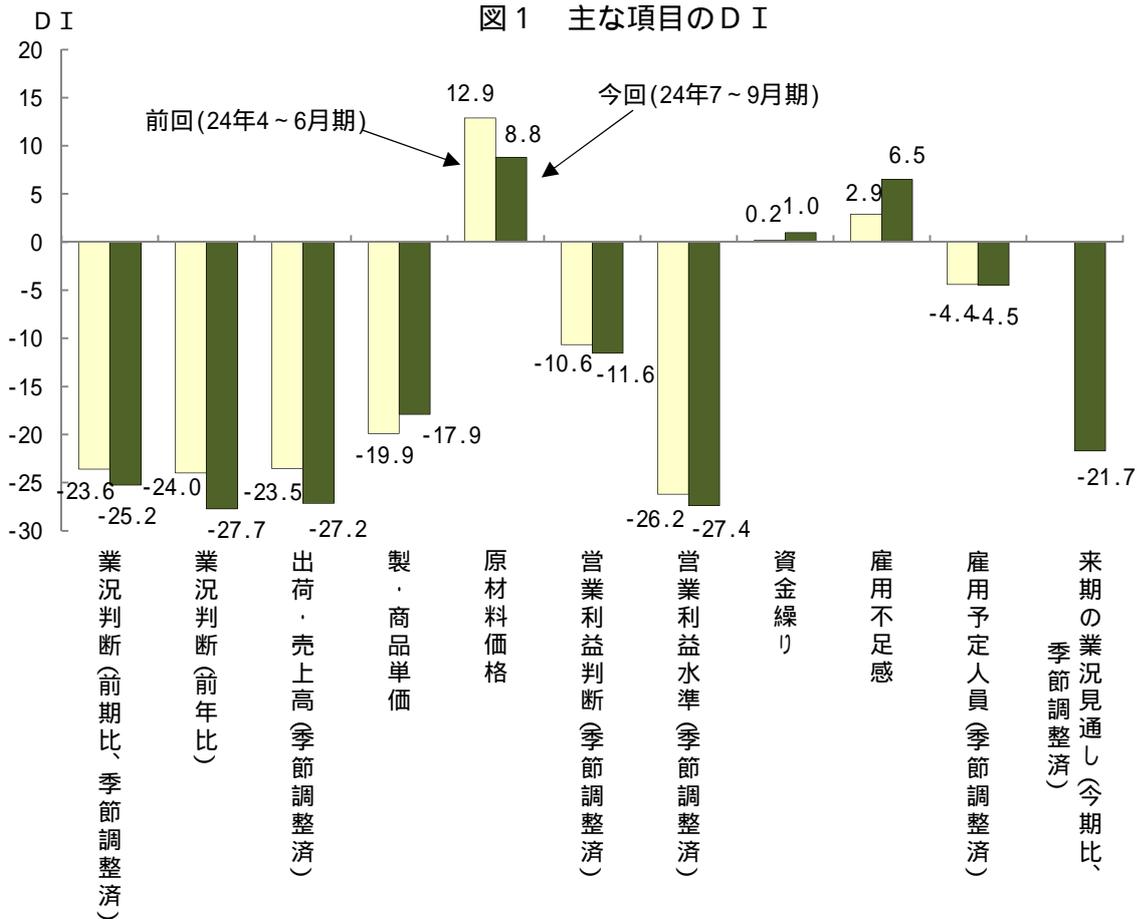
<http://www.city.osaka.lg.jp/keizaikyoku/page/0000002583.html> をご覧ください。

景気は、持ち直しの動きに一服感がみられる

業況判断DIは、中小企業で微減、製造業と大企業で悪化するも、来期の業況判断DIは、業種や規模を問わず改善が見込まれており、引き続き持ち直し基調にあるとみられる。一方個々の指標をみると、原材料価格DIが下落し、製・商品単価DIが上昇したものの、営業利益判断は弱含み、利益水準も製造業や大企業で悪化するなど、持ち直しの動きが鈍化した。また前期に比べて、雇用不足感はやや強まったが、雇用予定人員は横ばいとなった。資金繰りDIは2期連続で改善した。

以上の結果から、景気は持ち直し傾向ではあるものの、製造業や大企業などを中心に一服感が広がっている。

図1 主な項目のDI



調査結果に関するお問い合わせは 06-6210-9937
 商工労働部(大阪産業経済リサーチセンター)経済リサーチグループまで